

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
国際マルチビジネス 専門学校	昭和51年3月31日	野口和江	〒 980-0021 (住所) 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																					
設置者名	設置認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 東社学園	昭和38年7月15日	野口和江	〒 980-0021 (住所) 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	総合英語 学科	平成31年 文部科学省認定	-																				
学科の目的	英語4技能を学習し、使える英語力を習得するとともに、在学中に留学を経験し、異文化体験を通じて適応力や柔軟性を身に著けた人間的成長を目標とする。																							
認定年月日	令和2年3月15日																							
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼	2,079	609.0	859.6	610.4	0																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の 内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
20人	10人(20人の内数)	0人	3人	16人	19人																			
学期制度	■前期: 04月01日~09月30日 ■後期: 10月01日~03月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 定期試験60点以上、出席80%以上 評価の方法: 定期試験、出席・授業態度等の総合判断																				
長期休み	■学年始: 04月01日~04月10日 ■夏季: 07月23日~08月14日 ■冬季: 12月17日~01月09日 ■学年末: 02月21日~03月31日		卒業・進級 条件	卒業要件: 認定単位以上を取得し、総時間数の80%以上を履修 進級要件: 認定単位以上を取得し、総時間数の80%以上を履修																				
学習支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談: 指導等の対応: 入学前オリエンテーションの実施、資格取得指導、 担任・キャリアコンサルタントによる面談/相談等		課外活動	■課外活動の種類 各種ボランティア ■サークル活動: 無																				
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) パスイエイ、りんどう湖ファミリー牧場		主な学習成果(資 格・検定等)	■国家資格、検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 就職ガイダンス/キャリアカウンセリングの実施、 リクルートスーツデーの実施、個別指導等			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実用英語技能検定(2級)</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定(準2級)</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>サービス 介助士</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>文書処理能力検定(E3)</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>			資格検定名	種別	受験者数	合格者数	実用英語技能検定(2級)	③	3人	1人	実用英語技能検定(準2級)	③	4人	1人	サービス 介助士	③	6人	6人	文書処理能力検定(E3)	③
資格検定名	種別	受験者数	合格者数																					
実用英語技能検定(2級)	③	3人	1人																					
実用英語技能検定(準2級)	③	4人	1人																					
サービス 介助士	③	6人	6人																					
文書処理能力検定(E3)	③	6人	6人																					
■卒業業者数	6人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
■就職希望者数	2人		■自由記述欄 特になし																					
■就職者数	2人		■中退率 9.1%																					
■就職率	100%																							
■卒業生に占める就職者の割合	:		33%																					
■その他 仙台白百合女子大学に2名編入																								
(令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																								
中途退学の 現状	■中途退学者 令和3年4月1日時点において、在学者11名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者10名(令和4年3月31日卒業者を含む)																							
経済的支援 制度	■中途退学の主な理由 進路変更																							
	■中途退学防止・支援のための取組 入学・進級時面談、保護者連絡・面談、学費分納相談、カウンセリング、休学等																							
第三者による 学校評価	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有																							
	■入学時特待生制度、2年次特待生制度、短期留學奨学生制度																							
当該学科のホーム ページURL	■専門実践教育訓練給付 : 非給付対象																							
	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無																							
評価団体: — 受審年月: —		評価結果を掲載した ホームページURL																						

https://www.mbc.ac.jp

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目標として、学科の教育課程を編成する。身につける知識やスキルをについて実務に携わる企業の方の意見を基に科目設定に加え、また可能な限り既設授業の単元にも取込を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員は国際マルチビジネス専門学校教職員と、企業関係者等の外部委員から構成され、相互意見を十分に活かし、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置づけている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社 仙台支店	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小笠原 均	有限会社 花嫁の千登勢	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
板垣 佑子	Across THE Universe(アクロス ザ ユニバース)	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
加藤 ゆかり	株式会社 留学ジャーナル	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
畑谷 紀衣	国際マルチビジネス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
千葉 雅俊	国際マルチビジネス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、9月)

(開催日時(令和4年実績))

第1回 令和4年8月24日(水) 15:10～15:50

第2回 令和4年9月14日(水) 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・留学前に現地との『Online Communication』の実施

(別途、以下の資料を提出)

- \* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- \* 教育課程編成委員会等の規則
- \* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- \* 学校又は法人の組織図
- \* 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求に応えられるよう、演習形式で授業を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業等より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業実施の上、評価を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
特別講座 (サービス介助士)	高齢者、障害者への正しい介助方法を習得する。	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構

(別途、以下の資料を提出)

\* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修規程を基に、卒業後に就業を目標とする業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を得て、学生への指導へ活かしていくことを目指す。また、研修受講により実践的な技術や技能の向上に務めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JICA東北センター訪問プログラム受講  
 期間: 令和4年1月21日  
 内容: JICAの取り組み、海外を見据えたキャリア選択について受講し、指導の一助とした。

連携企業等: JICA東北  
 対象: 教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ホテルビジネス実務検定セミナー受講  
 期間: 令和3年11月6日  
 内容: 卒業後に目指す職業のひとつであるホテル業について検定セミナーを受講。

連携企業等: 一般財団法人 日本ホテル教育センター  
 対象: 教員1名

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 海外留学生活準備/渡航ガイダンス  
 期間: 令和4年8月、9月予定  
 内容: コロナ禍後の海外渡航/留学について、最新の出入国についての状況や注意点等を受講予定。

連携企業等: 株式会社 留学ジャーナル  
 対象: 教員3名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: CASEC試験受検  
 期間: 令和5年3月予定  
 内容: TOEIC試験に代わるオンライン英語試験、CASECを受検予定。

連携企業等: 株式会社 教育測定研究所  
 対象: 教員1名

(別途、以下の資料を提出)

- \* 研修等に係る諸規程
- \* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- \* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校関係者の方々からご理解を頂けるよう、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	学校運営
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	教育活動・教育環境
(6) 教育環境	学生支援
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今年度も委員会から忌憚のない意見を頂戴した。

・今まで培ってきた学園の「伝統と信頼」は非常に強固なものと評価する。本校の面倒見の良さや教員の熱意等は他校には見られない強み＝愛情と評価できると思う。学園のこの姿勢が変わりゆく未来を生き抜く力を伝え授けることに繋がっている。可視化は非常に難しいが、学園のこの理念と安心感をより伝えることができるよう尽力いただきたい。  
 ・自ら考え、行動できる自発的な人間の育成が今まで以上に重要となる。「コミュニケーション能力」を持ち合わせることでより様々な状況に立ち向かえる為、継続して更なる強化を願いたい。  
 ・コロナ禍においては、接客業は就業が難しいと捉えた家庭も一定数あったかと想像するが、アフターコロナの現在、各業界はコロナ前以上に求人増または新規事業に着手する動きが顕著である。業界の有望性を周知するべき。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
伊藤 彰徳	名鉄観光サービス株式会社 仙台支店	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
小笠原 均	有限会社 花嫁の千登勢	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
板垣 佑子	Across THE Universe(アクロス ザ ユニバース)	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
加藤 ゆかり	株式会社 留学ジャーナル	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://www.mbc.ac.jp/publication>

公表時期: 令和4年9月30日

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第14条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施及び公表が義務付けられた。

本校では平成27年度より学校関係者評価委員会を立ち上げた。自己評価を基本とし、外部委員の意見を頂戴し、より社会に貢献できるよう努める。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令遵守

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://www.mbc.ac.jp/publication>

公表時期: 令和4年9月30日

(別途、以下の資料を提出)

\* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	ノグチ カズエ	所属部署	-
	氏名	野口 和江	役職名	校長
	所在地	〒 980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8番32号		
	TEL	022-222-2328	FAX	022-222-5409
	E-mail	info@mbc.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7、8についても同じ。)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 総合英語学科(2年制))															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			English Communication	ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話を行う。	1,2前通	285.6		○			○			○
2	○			Listening & Speaking	ネイティブスピーカーにより、ListeningとSpeakingの強化をを行う。	2通	95.2		○			○			○
3	○			TOEIC	徹底した問題演習を行い、より高いスコアを目指す。	1,2前通	142.8		○			○			○
4	○			英語基礎演習 (Listening)	英語の4技能Listeningについて基礎から習得する。	1前	23.8		○			○			○
5	○			英語基礎演習 (Reading)	英語の4技能Readingについて基礎から習得する。	1前	23.8		○			○			○
6	○			英語基礎演習 (Writing)	英語の4技能Writingについて基礎から習得する。	1前	23.8		○			○			○
7	○			英語基礎演習 (Speaking)	英語の4技能Speakingについて基礎から習得する。	1前	23.8		○			○			○
8	○			Speech and Presentation	論理的にメッセージを伝える英語でのスピーチ、プレゼンテーションについて学習する。	1,2前通	71.4		○			○			○
9	○			Discussion	様々なトピックスを題材にして、自分の意見を英語で表現する方法を習得する。	2通	47.6		○			○			○
10	○			Tourist English	観光業界用語、旅行に関する実務的な事柄を英語を通じて習得する。	1,2前通	71.4		○			○			○
11	○			Current English	英字新聞や雑誌を教材に、英語の言い回しやポイントなどについて理解する。	2通	47.6		○			○			○
12	○			Business English	ビジネスで使用される英語専門用語をおさえ、ビジネスメール・レター、電話対応等を習得する。	2通	47.6		○			○			○
13	○			Language (Chinese)	中国語の「聞く」「話す」を中心に基礎的な会話を習得する。	2通	47.6		○			○			○

14	○		Service and Protocol	グローバルな人材を目指すため、国際的なマナーやルールを習得する。	2通	47.6		○			○		○					
15	○		Global Studies	日本国内や国際社会で起きている時事を取り上げ、考える一助とする。	2通	47.6		○			○		○					
16	○		語学留学準備講座	約4ヶ月の留学に備えて心構え、語学学校・現地での生活面、ビザ情報等の準備を行う。	1前	47.6		○			○		○					
17	○		話し方講座	改めて美しい日本語を話せるよう習得する。	2後	23.8		○	△		○							○
18	○		パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	12前通	71.4		△		○	○							○
19	○		就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	12前通	71.4		○	△		○							○
20	○		実用英語検定対策	実用英語技能検定対策として、英語4技能をレベル別に習得する。	12前通	71.4		○			○							○
21	○		社会人マナー	社会人としての立ち居振る舞いについて実践形式で習得する。	1前	23.8		○	△		○							○
22	○		ボールペン習字	心のこもった美しい文字を書ける様指導する。	1前	23.8		△		○	○							○
23	○		秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	2通	47.6		○	△		○							○
24	○		就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題などでの対策を実施する。	2前	23.8			○		○							○
25	○		ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を学び、接客業に不可欠なホスピタリティ精神の向上を目指す。	2前	23.8		○	△		○							○
26	○		海外語学学校留学	約4ヶ月間、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアへ留学を行う。	1後	448					○			○				○
27	○		スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	12前前	16.8					○			○				○
28	○		アウトドア研修	校外にて東北の良さを再確認できるイベント・研修を実施する。	2後	8.4					○			○				○
29	○		ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する為に実施する。	2後	1.4					○			○				○
30	○		就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	12後前	9.8		○			○							○

